みなさんの要求、運動で・・・

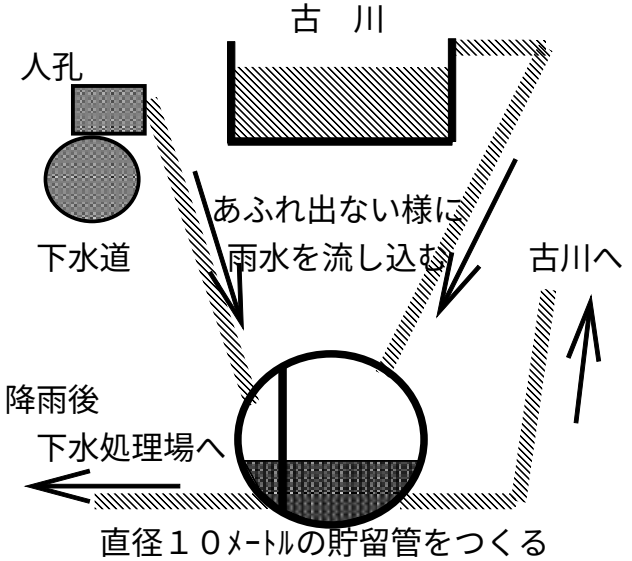
水害対策がさらに前進！

一月の区議会建設常任委員会で、古川の下に多目的貯留施設をつくる計画があることが明らかになりました。

古川の下に雨水をためる管を３kmにわたって敷設

近年、港区では集中豪雨時に水害（都市型水害）が度々発生していました。古川周辺では、古川の溢水や下水の逆流により床上・床下浸水などによって、多くの被害がもたらされました。

今回明らかになった東京都下水道局の計画は、下図のような貯留管を恵比寿駅近くの恵比寿東公園から一の橋公園までの約３kmに渡り、古川の下につくるというものです。



豪雨時において、この貯留管は、古川や下水道からあふれ出ないように雨水を一時的に貯める構造になっており、浸水被害を緩和します。さらに、古川や下水管の水位情報を区などに提供するために、管の中に光ファイバーがひかれる計画にもなっています。

貯留容量は約十八万トン。今年度と来年度に調査が行われ、再来年度着工とのことです。

みなさんの要求と運動が対策の前進につながる

この間、水害対策を求める陳情や請願が区や都、議会に出されてきました。また、日本共産党港区議団やくぼた光前都議は、みなさんの要求に基づいて、議会でこの問題を繰り返し取り上げてきました。そうした中で、雨水貯留槽、貯留管の敷設や雨水ます・透水性舗装などの対策が順次実施されてきました。

引き続き、一日も早く水害のない港区にするために、みなさんと力をあわせて全力でとりくんでゆきます。

日本共産党 港区議会議員
熊田 ちづ子 区政報告

２００２年３月発行／連絡先 3583-1402